

公演概要

【タイトル】 まいきょうし 舞響詩「田園」～踊る、鳴らす、詩う～ うた

【公演日時】 2025年11月23日(日曜・祝日) ①12:30～13:30 開場12:00
②15:00～16:00 開場14:30

【会場】 デフリンピックスクエア
(国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 小ホール)

【出演】 一般公募で集まった小学2年生～高校2年生(ワークショップ参加者)

【出演・指導】 桜井しおり*、野口綾子*、MAHO[デフダンサー]、YUTO[デフダンサー]、Sasa-Marie[ろう詩人]、Yumiko Mary Kawai[ろう俳優 ※指導のみ]、藤井健[パーカッショニスト/CODA]、齋藤綾乃[パーカッショニスト]*、宮楠菜穂[サクソフォン奏者 ※出演のみ]* *東京文化会館ワークショップ・リーダー

【スタッフ】 手話通訳:石川ありす、岡島珠実、加藤裕子、瀬戸 勇、瀬戸口裕子、平原礼奈/衣裳:増田恵美(モマ・ワークショップ) 衣裳製作:寺田和恵(モマ・ワークショップ)、照明:望月大介(ASG)/舞台監督:穂積千寿(ザ・スタッフ)/演出助手:牛頭奈織美

【観覧】 無料

【申込】 事前申込制。当日受付分のお席もご用意があります。
全席ヒアリンググループ対応*「車椅子席」、「鑑賞サポート付席(各種)」あり

【申込方法】 10月24日(金曜)14:00から右記QRコードよりお申込ください。

申込フォーム:<https://t.livepocket.jp/e/den-en>

※対象:小学生以上

※特別な配慮が必要な方は、お申込みフォームの備考欄にその旨をご記入ください。



申込フォーム

【会場地図・アクセス情報】

デフリンピックスクエア

(国立オリンピック記念青少年総合センター

カルチャー棟 小ホール)

東京都渋谷区代々木神園町3-1

- ・小田急線 参宮橋駅から徒歩約7分
- ・地下鉄千代田線 代々木公園駅 4番出口から徒歩約10分
- ・京王バス
新宿駅西口(16番)より
[宿51]渋谷駅行「代々木5丁目」下車
渋谷駅西口(40番)より
[宿51]新宿駅西口行「代々木5丁目」下車



■デフリンピックスクエアとは？

大会期間中、運営や輸送、選手同士の交流など様々な機能を集約した拠点として「デフリンピックスクエア」を国立オリンピック記念青少年総合センターに設置します。

大会運営本部、輸送のハブ、メディアセンター、練習会場等の機能をもつ大会運営拠点に加え、多くの皆さまが楽しみながらデジタル技術を活用したユニバーサルコミュニケーションや交流、東京の芸術文化を体験できる機会など、選手や来場者向けの様々なプログラムを展開します。

【鑑賞サポート】

●音を振動に変換する機器「タッチ・ザ・サウンド・ピクニック」(貸出台数制限あり)

音を振動に変換する手持ち型の機器「タッチ・ザ・サウンド・ピクニック」を貸し出します。
懐中電灯のような形で「音の種類や強弱」が、振動になって手に伝わります。

[開発: 金箱淳一(共遊楽器研究者)]



●ヒアリンググループ(全席対応)

補聴器や人工内耳を使用する方へ、舞台上の音をよりクリアに伝えます。

当日受付にて、専用受信機の貸し出しもあります。数に限りがございますので、予めご了承ください。

※その他、聴覚、視覚サポート機器をご用意いたします。詳しくはウェブサイトをご確認ください。

公式サイト:<https://www.t-bunka.jp/stage/30094/>

主催:東京都、東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

■出演者・講師のプロフィール



桜井しおり／構成・演出(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

桐朋学園大学音楽学部卒業。2012年に音楽ワークショップ・アーティスト「おとみっく」を発足し、これまで500公演を実施、延べ4万人以上が参加。国内のみならず海外での音楽フェスティバルやプロジェクトに出演。2024年度に(一社)IROHAMOを設立し、アーティスト・ディレクターに就任。近年はオーケストラと共演し、子ども向け公演の司会も担当。(一財)地域創造音楽活性化事業コーディネーター。



野口綾子／構成・演出(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

神奈川県出身。フェリス学院大学音楽学部音楽芸術学科卒業。音楽学、ピアノ演奏、幼稚園や病院・老人ホームでの訪問演奏会の企画実施などを学ぶ。卒業後、リトミック指導法や、様々な音楽ワークショップの手法を国内外の指導者から学ぶ。現在、文化施設や幼稚園・学校・特別支援学校・福祉施設等で音楽ワークショップを行っている。また、オーケストラの教育普及系公演のナビゲーター、国際音楽祭の子ども向けコンサートやワークショップの企画制作も手がけている。



MAHO／ダンスチーム講師(デフダンサー)

東京都出身。6歳で台湾人デフダンサーのワークショップに参加し、ダンスに目覚める。2019～2021年には「パブリカ」Foorin楽団員として活動。東京2020パラリンピック開閉会式、NHK「u&i」「Eダンスアカデミー」「True Colors LIVE」、NHK総合「MEWE ふたりのはなし編」(WEBBY AWARDS受賞)、日本テレビ「24時間テレビ」、「news every.『聞こえない世界でダンス！14歳少女が見つけた夢』」などに出演。現在はDIVERzに所属。個人としても手話本の出版や地域活動への参加を通じて、手話の普及と多様性の発信に取り組んでいる。



YUTO／ダンスチーム講師(デフダンサー)

4歳でヒップホップダンスを始め、8歳からはブレイクダンスも並行して学ぶ。現在は両ジャンルを軸に活動中。東京2020パラリンピック開閉会式、NHK「Eダンスアカデミー」、日本テレビ「24時間テレビ」(2018年・2023年)などに出演。2024年「True Colors Special Live」で、新しい学校のリーダーズをはじめ多様なアーティストと共演。全国各地でのワークショップやパフォーマンスは100回を超える。現在は聴者の妹とともに活動の幅を広げている。



齋藤綾乃／打楽器チーム講師(パーカッショニスト／東京文化会館ワークショップ・リーダー)

桐朋学園大学卒業。2014年～千葉交響楽団打楽器奏者。23・24年度文化庁ユニバーサル公演事業採択アーティスト。全国の特別支援学校を対象に公演を実施。25年3月東京文化会館主催「音楽をみる、映像をさく、オンラインコンサート」出演。同8月、大阪万博での「落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクトVOL.9「null?する音楽会」」にて、ソニーグループ株式会社が開発した「ハグドラム」を用いてリズムを振動で伝えるリズム通訳として出演。



藤井健／打楽器チーム講師(パーカッショニスト／CODA)

Children of Deaf Adults (CODA)の出自を持つパーカッショニスト。12歳より打楽器を始め、大学在学中に30超の音楽団体を遍歴する中でワールドミュージックの薫陶を受ける。ハンドサインによる即興演奏法を用いた打楽器集団「LA SEÑAS」所属。ポエトリー・パフォーマンスグループ「でんちゅう組」への参加を通じ、ろう者・難聴者にとっての音楽というテーマに聴者の視点から関心を深める。



Sasa-Marie／てことばチーム講師（ろう詩人）

サイン・ミュージシャン／ろう詩人（Sign Poet）／DEAF MUSICA Artist _ Researcher
てことば、身体、声、音楽などによる五感で感じる空間インスタレーションとポエトリー・リーディングを展開。
ろう俳優河合メアリとともに、ろう者の視点から、ろう芸術表現を伝える団体ミナテマリを結成。
九州大学大学院芸術工学府博士課程後期在学中。ろう者、聴覚障害者の“おんがく”や音楽の鑑賞環境等について研究。



Yumiko Mary KAWAI／てことばチーム講師（ろう俳優/ろう通訳） ※講師のみ

北海道札幌市出身。
フリーランスのろう俳優として様々な舞台、テレビ、映画、手話関連の映像などに出演。
2023年4月 めでみるコトバの住人としてSasa-Marieと『ミナテマリ』で、サインポエトリーやサインミュージックのステージを中心に、てことば・てあそびWSやおとなと子どもの「見るみる非言語WS」など各種ワークショップも全国各地で意欲的に活動を広げている。



宮楠菜穂／サクソフォン（東京文化会館ワークショップ・リーダー） ※出演のみ

和歌山県出身。昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科演奏家コース卒業。サクソフォンを福田亨、松原孝政、神保佳祐の各氏に師事。第26回ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。NPO法人ワールドシップ2023フィリピンプロジェクトにてソリストを務める。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウィンドに第8期生として3年間在籍し、研鑽を積んだ。現在、東京文化会館ワークショップ・研修リーダー。Seras Saxophone Quartetメンバー。

■東京文化会館ワークショップ・リーダーとは？

東京文化会館では、最先端の教育普及活動を行っている海外の音楽施設と連携し、音楽の喜びや楽しさを、新たな切り口で幅広い層に伝えるための「ワークショップ・リーダー」を育成しています。ワークショップ・リーダーには、音楽的能力だけでなく、高いコミュニケーション力、自己表現力などの様々な能力が必要とされます。多様化する社会で、人と人を音楽でつなぐ役目を担っています。



「サンサン!もくもく!おてんき研究所」対象:6カ月～6歳(未就学児)



「パ!パ!パ!パーカッション!」対象:小学生～大人



ワークショップ・コンサート「バーバラの魔法のくすり」
対象:6カ月～6歳(未就学児)



「東京文化会館 リラックス・パフォーマンス～世代、障害をこえて楽しめるコンサート～」
対象:4歳以上

■ベートヴェン作曲 交響曲第6番「田園」とは？

ドイツの作曲家、ベートーヴェンが1808年に作曲した交響曲。
ベートーヴェン自身が「田園」と名付け、田舎や自然の風景が楽曲に描かれています。全部で5楽章に分かれ、各楽章には描写的なサブタイトルが付けられています。

- 第1楽章: 田舎に到着したときの晴れやかな気分
- 第2楽章: 小川のほとりの情景
- 第3楽章: 田舎の人々の楽しい集い
- 第4楽章: 雷雨、嵐
- 第5楽章: 牧歌: 嵐の後の喜ばしい感謝の気持ち。

ベートーヴェンは田園、自然豊かな散歩道、田舎の大自然を好み、「交響曲第6番」初演時の楽譜には「田舎での生活の思い出。絵画描写というよりも感情の表出」と記されています。
今回の「舞響詩『田園』～踊る、鳴らす、詩う～」では、ベートーヴェンの感じた「豊かな自然」をテーマにした、まったく新しい舞台作品を創作します。

■「舞響詩「田園」～踊る、鳴らす、詩う～」の創作の様子

「舞響詩『田園』～踊る、鳴らす、詩う～」は、2025年8月より事前ワークショップを始めました。一般公募で集まったろう者・難聴者・CODA・SODAのこどもたちが、ダンスチーム・てことばチーム・打楽器演奏チームの3チームに分かれ、それぞれ15回程度ワークショップを重ねながら一つの作品を創っていく、という創造型の舞台作品になります。

指導するのは、ろうのダンサーやサインポエムのアーティスト、CODAの打楽器奏者や東京文化会館のワークショップ・リーダーたちです。子どもたちのアイディアや「自然」に対する感情をもとに、それぞれの表現方法で創作しています。



▲ダンスチーム(講師:MAHO、YUTO)
「農民の踊り」の場面の振り付けを練習していきます。



▲打楽器チーム(講師:齋藤綾乃、藤井健)
嵐や大雨などの場面を、ハンドサインを見て、演奏で表現します。



▲てことばチーム(講師:Sasa-Marie、Yumiko Mary Kawai)
皆で相談しながら、花や小川、鳥などの表現を考えていきます。



▲講師陣と演出・構成の打合せ(構成・演出:桜井しおり、野口綾子)
各場面の内容について、議論を重ねながらクリエイションをしています。